

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター藤沢市太陽の家しいの実学園		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		~ 2026年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		~ 2026年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 36
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職員が関わり、お子さんの状態を多角的に関わり支援している。	小単位のグループ制を取り、支援を行っている。様々な職員が関わる事で視野を広げて支援に活かしている。	意見交換をする中で、情報の共有や各児童のより良い支援に繋がるように努めている。
2	広い敷地に恵まれた遊具がたくさんある。	室内にはホールが2つ、屋外に体育館があり、雨の日等でもたくさん身体を動かせるスペースがある。職員間で子ども達が充実して時間を過ごせるように様々な設定を考え日によって変えたり、心身の発散が出来るような活動を取り入れている。	さまざまな環境設定した支援を行っているが、現在の支援にとどまらない、新たなアイデアの支援と心身の発散が出来る活動の充実。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が古く、老朽化が進んでいる。	清掃・消毒を積極的に行なっているが、設備等の老朽が見られる。	毎日の清掃を丁寧に行ない、季節に応じた制作等で古さを感じさせないように努めていく。
2			